

科目	臨床運動学(OT)	担当	飯塚 照史	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

本科目では主に動作分析を取り上げる。動作分析は身体障害や発達障害領域の作業療法において疾患の問題点を評価分析し、治療プログラムを作成し実施するための基礎となる。したがって、運動学、運動学実習で学んだ基礎知識を基に、動作を引き起こす要因について考察し、治療展開を考慮できるようになる事を目標とする。また、治療手技や体力測定から作業療法実施にあたっての具体的方法とその根拠についても理解することを目標とする。

【履修注意】

動作分析を理解するための解剖学的、生理学的、運動学的知識が必要である。また、実技、実習に多く取り組む講義形態であり、学生の積極的な取り組みを望む。

【評価方法】

試験、レポート、小テスト、受講態度、出席状況を総合して評価する。
講義回数の2/3以上の出席に満たない者は評定対象から除外する。

【試験について】

期末試験を実施する。
再試験対象者の条件： 期末試験40点以上60点未満の者

【予習・復習】

実践的内容のため、受講に際して関連科目の復習が必要である。また、日常生活での動作分析を課題とするため、自宅での演習も行う。

【教科書】

書籍名：15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 臨床運動学 石川朗・種村留美 編 中山書店

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	動作分析概論1	重心・支持基底面・力学
2	動作分析概論2	関節運動・筋活動・バランス
3	動作分析概論3	動作分析手順・適応・実践
4	動作分析概論4	立ち上がり・起き上がり・寝返り動作
5	脳卒中動作分析	脳卒中・基本動作・応用動作
6	脳卒中治療戦略1	脳卒中・浮腫・予防
7	脳卒中治療戦略2	脳卒中・上肢機能・訓練
8	脳卒中治療戦略3	脳卒中・上肢機能・訓練
9	動作分析各論5	正常歩行・異常歩行・日常生活への影響
10	動作分析各論6	歩行の異常・評価・治療
11	動作分析各論7	歩行の異常・評価・治療
12	動作分析各論8	筋ジストロフィー児の動作分析・評価・実践
13	動作分析各論9	脳性麻痺児の動作分析・評価・実践
14	臨床応用1	動作分析・拘縮原因・徒手操作
15	臨床応用2	運動療法・治療戦略・適応
16	期末試験	15回の復習・確認・総まとめ